

SPODフォーラム2018@香川 シンポジウム
『大学教職員に今、何が求められるのか』

指定発言

「SPODがしてきたことと今度の課題」

SPOD企画・実施統括者、愛媛大学教授
小林直人

2018/08/30

SPODにできたこと

- SPODは設立から10年、SPODフォーラムは今年で10回目を迎えました。
- 授業**方法の改善**への提案と支援
- 教員らへの実践的な講習の提供
 - ⇒授業の内容は変わったか？
 - ⇒学生の学びは変わったか？
 - ⇒学習/学修時間は伸びたか？

2018/08/30

SPODにできたこと

- SPODは設立から10年、SPODフォーラムは今年で10回目を迎えました。
- 大学**職員の能力開発**への提案と支援
- 職員のための「汎用的能力」の定義
- 汎用的能力育成のための講習の提供
 - ⇒「教職協働」は進んだか？
 - ⇒「専門職」化を支援しているか？

2018/08/30

SPODにできたこと

- SPODは設立から10年、SPODフォーラムは今年で10回目を迎えました。
- 大学をめぐる政策に関する情報提供
- 大学**執行部/管理職**のためのセミナー
 - ⇒十分にアップデートされているか？
 - ⇒本当のターゲットに提供できたか？
 - ⇒執行部/管理職に影響したか？

2018/08/30

SPODが(多分)してこなかったこと

- 大学で何を教えるべきか、という議論
 - 教職員がどうあるべきか、という議論
 - 「そもそも論」を避けてきたのかも知れない。
 - 「理念」は共有されている、と思っていたかも。
- ⇨大学をめぐる変化(学生、教職員、政策)に、**実践面**で対応することを優先している。

2018/08/30

ご清聴ありがとうございました。
今後ともSPODへの温かい
ご支援をお願い致します。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)
企画・実施統括者、愛媛大学医学系研究科・教授
小林直人

naoto@m.ehime-u.ac.jp

2018/08/30